

第11回 新潟県 SSH 生徒研究発表会 in Echigo-NAGAOKA

7月28日(金) アオーレ長岡にて、新潟県内のSSH指定校5校に、富山中部高校を加えた6校による生徒発表会が行われました。

午前中はステージ発表が行われました。

本校からは3年生化学班「表面積による消臭効果の違い」を研究テーマとした生徒が英語でステージ発表に臨みました。なお、質疑応答では英語での質問がありましたが、これにも英語でしっかりと答えていました。

発表を終えての生徒の感想です。



英語での発表の機会は多くないので、事前の準備に力を入れました。大変でしたが、おかげで話し方、考え方などを身につけることができました。本番の発表ではハキハキと喋ることができたので良かったです。いい経験になりました。

午後はポスターセッションが開催され、本校からは2,3年生3班ずつ計6班が参加しました。総勢100を超える研究テーマが並ぶ活気にあふれた会場でした。

生徒は10分ごとの「ターム」の中で発表と聴講を3セット繰り返し、さまざまに刺激を得ることができたようです。生徒の感想です。



- ・フィボナッチ数列の研究で、聴衆も強い興味を示していて、楽しいブースでした。
- ・放線菌の研究が自分の研究分野に関係が強く、とても参考になりました。
- ・他校の研究がとても進んでいました。私も頑張って進めなければと、良い刺激をもらいました。
- ・研究のテーマに他校の班は興味関心をひくものが多く、参考になる事も多かったです。自分の研究の改善点を多く見つけることができ、とても良い経験になりました。
- ・世界は広いなと思いました。いろいろな人が本当にいろいろな研究をしていました。こんな事も研究になるんだ、という発見もありました。

その後さらに交流会がとり行われました。各校の生徒はバラバラになり、他校の生徒と合同チームで構造学的ゲーム(スチロールを何枚も重ねて、地面と平行に突出した部位をできるだけ長く作る)をしました。積極的にアイデアを出し合いながらより記録を伸ばそうとする様子がどのチームにも見られました。

